

渋川医療センター

広報誌



星名渋川市長と病院幹部

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携し、その役割を果たします

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として社会に貢献します
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます

【目次】

年頭のご挨拶	1
渋川医療センターマスコットキャラクター『しぶりい』誕生	2
リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025ぐんまへ参加しました	3
第11回市民公開セミナーを開催しました	3
「第7回連携協力医大会」を開催しました	4
職場紹介	
医療福祉相談室	5
認定看護師紹介	
摂食・嚥下障害看護認定看護師	6
シリーズ	
●患者さんにとって耳よりの情報	
がん予防のための食事とは	7
「アンコンシャス・バイアス」に目を向けてみませんか?	8
●外来診療担当医表	9
●セカンドオピニオン担当医表	11
●患者さんの権利	11
●看護の理念、看護の基本方針	11
●編集後記	11

年頭のご挨拶

院長 高橋 章夫

新年あけましておめでとうございます。国立病院機構渋川医療センターはこの3月で開院から10年の大きな節目を迎えることになります。この間、度重なる自然災害や新型コロナウイルス感染の蔓延など大きな危機がありましたが、なんとか乗り越えてこられたのは一重に地域の皆さまのご支援があったからこそです。職員を代表して心から御礼申し上げます。

開院10周年記念として、マスコットキャラクター作成を米川敦子看護部長が発案し、院内公募した結果、八塩知美副看護師長のデザインが選出されました。このキャラクターに神沼拓也高精度放射線治療センター長が色彩調整と3D化を施し、名前を広く募ったところ、渋川市の職員様より「しぶりい」の愛称をいただきました。渋川市の花であるあじさいの妖精^{フェアリー}で当院の目指す「優しく患者を支える先進医療」の象徴です。院長の勝手な妄想なのですが、「しぶりい」は「Chivalry」にも通じると考えています。Chivalryとは騎士道精神の意であり、日本においては武士道と言い換えることもできるでしょう。

昨今、物価高騰や人件費上昇による病院の経営悪化とそれに伴う地域医療の崩壊が危惧されており、当院も例外ではありません。大変厳しい情勢の渦中であっても、渋川市の総合病院として北毛地域に住まう皆さまに良質な医療を届けるため、「しぶりい」のように優しさと勇気、気品を兼ね備えた医療人の集団を目指して、職員一同前進してまいりますので何卒変わらぬご支援をお願い申し上げます。



渋川医療センターマスコットキャラクター 『しぶりい』誕生

管理課長 林 宏樹

渋川医療センターのマスコットキャラクター『しぶりい』が誕生しました。患者さん・ご家族、渋川市職員の皆さまを対象にキャラクター愛称を募集したところ、138件もの素敵な名前が寄せられ、選考は大変悩ましいものとなりました。病院内で何度も選考を重ねて、ようやく皆さまにお披露目できる運びとなりました。

『しぶりい』は、渋川の「し」「ぶ」と医療センターの「い」「り」を組み合わせた名前で、渋川市職員の方が考案されました。匿名での応募だったため直接お礼ができなかったことは残念ですが、11月26日には高橋院長から星名市長に感謝状を贈呈し、市を代表して受け取っていただきました。

『しぶりい』は当院の八塩副看護師長がデザインを手がけた「あじさいの妖精」で、さらに神沼高精度放射線治療センター長が3D化して完成しました。渋川医療センターのやさしさに触れ、仲間になりたいと願い、病院のマークを手に入れて舞い降りてきたという物語が込められています。見た人が思わず笑顔になる、やさしく可愛らしい存在です。

10周年という節目に向けて、市民の皆さまに親しまれる病院づくりの一環として誕生した新しい仲間『しぶりい』。今後、様々なかたちで活躍する予定です。日々の診療や取り組みをより身近に感じていただけるよう、今後も広報誌やイベント等で病院情報を発信していきますので、『しぶりい』を目にする機会も多くあると思います。『しぶりい』が地域の皆さまに親しまれる存在になっていくことを願っています。

これからも、地域とともに歩む渋川医療センターをよろしく願いいたします。



しぶりい



高橋院長から星名市長へ感謝状を贈呈

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2025ぐんまへ参加しました

庶務班長 佐藤 淳

令和7年10月11日(土)～12日(日)の2日間にわたり、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025 ぐんま」が開催され、当院からは約35名の有志が参加しました。

リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやそのご家族を支援し、がん征圧を目指す世界的なチャリティイベントです。「がん患者は24時間、病気と向き合っている」という想いを共有し、ともに歩き語らうことで、生きる勇気と希望を分かち合うことを目的としています。現在、世界32か国約4,500か所、日本では48か所で開催されており、地域に根差した活動として広がり続けています。

今年も夜を超えての開催となり、県内の医療関係者や多くの市民が参加しました。初日はあいにくの雨でしたが、参加者は雨具を身に着けながら笑顔で歩き続け、互いに励まし合う姿が印象的でした。翌日は快晴に恵まれ、青空の下でのウォークは爽快で、会場全体が明るい雰囲気になりました。夜にはルミナリエの幻想的な光が会場を彩り、参加者一人ひとりが静かに想いを込めて歩く姿に、深い感動を覚えました。

募金活動にも多くの方が協力してくださり、皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

今後もこの活動を通じて、地域医療の一員としてがん患者さんを支える取り組みを続けてまいります。来年もさらに多くの仲間とともに参加できることを願っています。



集合写真



ルミナリエ

第11回市民公開セミナーを開催しました

経営企画室長 鈴木 和也

がん診療拠点病院機能強化事業の一環として、令和7年11月22日(土)に第11回市民公開セミナーを開催しました。

今年は「知っておきたいがんの痛みの基礎知識」をテーマに、当院外来および大会議室を会場として、第1部「健康測定及び健康相談会」、第2部「講演会」の2部構成で開催し、延べ132名の方々にご参加いただきました。

第1部の健康測定では各専門職種による骨密度測定、体成分分析等の健康測定や、リンパマッサージ、いきいき腸活等の聴講を実施させていただきました。お薬相談、栄養相談、医療福祉相談についても多くの来場者にご参加いただき、盛況となりました。

第2部の講演会では、小林緩和ケア科医長による「がんの痛みは怖くない 医療用麻薬のお話し」、奥澤がん性疼痛看護認定看護師による「がんの痛みの治療を安心して受けられるために」の2つの講演が行われ、講演後には活発な質問等もいただくなど、盛況な市民公開セミナーとなりました。



健康測定、健康相談



講演会の様子

「第7回連携協力医大会」を開催しました

経営企画室長 鈴木 和也

2025年11月12日(木)19時より、プレヴェール
渋川にて「渋川医療センター第7回連携協力医大会」
を開催しました。

日頃より、病診連携でお世話になっている連携協
力医の先生方をお迎えし、120名以上に及ぶ参加
者のもとスタートいたしました。

高橋章夫院長による開会挨拶に始まり、ご来賓
を代表いたしまして中野正幸渋川地区医師会会長、
平形寿善渋川北群馬歯科医師会会長よりご挨拶を
賜りました。

第一部では、吉成大介特命副院長より「当院の現況とがん診療機能について」、渡邊覚患者相談支援セ
ンター長より当院の活動紹介として連携状況などを報告させていただきました。

布施正博吾妻郡医師会会長より乾杯のご発声をいただき、第二部意見交換会がスタートしました。

2020年から2022年はコロナ禍のため、連携協力医大会を開催することができませんでしたが、2023
年より再開して3年目となる連携協力医大会は、コロナ禍以前の活気を取り戻して第二部は大変な熱気に
包まれました。参加されていた先生方も、お席を移動されながら多くの先生方や当センターの職員と歓談
されており、笑顔や活気に満ちた意見交換会となりました。

渋川医療センターは2026年4月で開院10年目を迎えます。地域の先生方から「選ばれる病院」となる
よう、職員一同地域医療により一層力を入れてまいりたいと思います。

また、地域の皆さんが、住み慣れた場所で自分らしい暮らしをおくることができるよう、連携協力医の
先生方と協力しながら、北毛地域の基幹病院として役割を存分に発揮できるよう努力してまいります。今
後も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



開会ご挨拶
(高橋章夫院長)



来賓ご挨拶
(中野正幸渋川地区
医師会会長)



来賓ご挨拶
(平形寿善渋川北群馬
歯科医師会会長)



乾杯ご発声およびご挨拶
(布施正博吾妻郡医師会会長)



当院の活動紹介
「当院の現況とがん診療機能について」

医療福祉相談室

医療福祉相談室長 山田 尚子

医療福祉相談室は、がん相談支援センターと患者サポート相談窓口も併設し、ソーシャルワーカー(社会福祉士)が様々なご相談に対応しています。

医療福祉相談室

私たちが病気やけがをしたりすると、生活を送るうえで様々な不安や心配ごとがおこると思います。例えば、医療費や生活費の心配、介護や育児の不安、退院先のこと、復学や復職のこと、病気や障害のことで悩んでいるなど、お困りのことがあればお声掛けください。ソーシャルワーカーが、一緒に考え解決のお手伝いをしています。また、必要に応じて地域の医療機関や関係機関と連絡・連携をとらせていただきます。相談内容についての秘密は厳守いたします。



がん相談支援センター

「がん診療連携拠点病院」などに設置されているがんに関する相談の窓口で、国が指定した研修を修了した相談員(ソーシャルワーカー)がおります。がんの診断から治療、その後の療養生活全般、医療者や家族との関わり方、今の気持ちや不安なこと、治療と仕事の両立、妊孕(にんよう)性に関することなどについて相談することができます。当院に通院中・入院中の患者さんやご家族のほか、当院に通院していない方や地域の方々もご利用いただけます。費用は無料です。相談内容によっては、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等と連携をはかり、相談にお答えします。「がん相談支援センター」は、あなたとご家族、あなたの大切なひとを支える相談窓口です。一人で悩まず、まずはご相談ください。

患者サポート相談窓口

患者サポート相談窓口では、診療内容に関する事、医療費に関する事、職員の接遇に関する事、退院後のこと等、患者さんの立場に立ち、問題解決のためのお手伝いを致します。お受けいたしましたご相談やご要望は、その内容に応じて、適切な部署や職種と連携を取りながら、問題解決を行えるように努めます。お困りのこと、お気づきのこと等がございましたら、患者サポート相談窓口へお気軽にお立ち寄りください。



摂食・嚥下障害看護認定看護師

摂食・嚥下障害看護認定看護師

小林 美穂



摂食・嚥下障害看護認定看護師は、病気や障害で食事ができない患者さんや、誤嚥のリスクが高い患者さんへの「飲み込み」や「食べる」を支援しています。摂食嚥下障害は、食べ物を認識し口に取り込み、噛んで飲み込んで、胃に送り込む一連の動きにかかわる障害のことです。摂食嚥下障害の原因は、加齢や成長発達、疾病や治療の副作用など様々です。健康な方から疾患をお持ちの方、小児から高齢の方まで様々な方

が対象となります。

日常生活の中で、食べる時、またはそれ以外の場面で「むせることが多くなった」「硬い食べ物が飲み込みにくくなった」といった症状があれば、嚥下機能が低下している可能性があります。おすすめは、お口の体操です。有名なのは、「パ・タ・カ・ラ体操」です。これは、お口や舌を鍛える訓練方法で食べる・飲み込む機能の向上を目的としています。「パ・タ・カ・ラ」と一音ずつ発音してみたり、「パパパ…」[タタタ…][パタカラ、パタカラ…]など連続で発音します。無理のない範囲でぜひやってみてください。また、微熱が続く、痰が多くなったなどの症状は誤嚥性肺炎が疑われる場合がありますので、かかりつけの医師へご相談ください。

私は現在、重症心身障害病棟で勤務しています。私が認定看護師になろうと思ったきっかけは、経管栄養を行っていた患児さんが摂食機能訓練を行い、口から食べられるようになった経験からです。障害を持ったお子さんは、正常な食べる機能を獲得できないことがあります。しかし看護の力で、食べる喜びを感じて、その喜びを目の前で表現してくれた患児さんの顔が今でも忘れられません。

今後も患者さんの食べる・飲み込む力を支援し、食べ物を安全に楽しみながら摂取ができるよう取り組んでいきます。





患者さんにとって耳よりな情報



がん予防のための食事とは

がん病態栄養専門管理栄養士 高塚 真理

栄養指導ではよく「がんに効く食べ物は何か」「〇〇は食べない方がいいですか」と聞かれることがあります。食品や栄養素とがんの関連については、まだよくわかっていない部分が多いのが現状ですが、下記の表は関連が強いことが明らかになっているものを示しています。

項目	よく摂取する群でリスクが高い	項目	よく摂取する群でリスクが低い
食塩・ナトリウム	胃がん(男性)	野菜/ビタミンB	胃がん、大腸がん、肝がん
高塩分食品	全がん、胃がん	野菜+果物	食道がん(男性の扁平上皮タイプ)、肝外胆管がん
肉・赤肉(牛・豚)	結腸がん	大豆製品/イソフラボン	肺がん(非喫煙男性)、近位結腸がん(男性)、限局性前立腺がん
緑茶	甲状腺がん(閉経前女性) 膀胱がん(女性)	魚/n-3系脂肪酸	結腸がん、肝がん、膵がん
コーヒー	膀胱がん(非喫煙・過去喫煙男性)	緑茶	遠位胃がん(女性)、胆道がん、進行性前立腺がん
海藻	甲状腺乳がん(閉経後女性)	コーヒー	浸潤性結腸がん(女性)、肝がん 子宮体がん、脳腫瘍
イソフラボン	肝がん(女性)		

がん予防のための食生活のポイント

①減塩を心がける

いくら塩辛などの塩分濃度の高い食べ物を摂る人は男女ともに胃がんのリスクが高いという結果が報告されています。

食塩摂取量の目安

日本人の食事摂取基準(厚生労働省策定「日本人の食事摂取基準(2025年版)」)では、1日あたりの食塩摂取量を**男性は7.5g未満、女性は6.5g未満**にすることを推奨しています。塩辛い食品や食塩の摂取は最小限にするように心がけましょう。

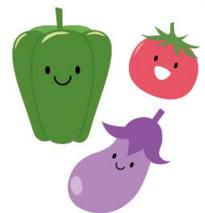


②野菜を摂る

野菜を摂ることで、胃がんや大腸がん・食道がんのリスクが低くなることが報告されています。

野菜と果物の摂取について

厚生労働省策定「健康日本21(第二次)」では、1日あたり野菜を350g 摂ることを目標としています。果物も合わせた目安としては、野菜を小鉢で5皿分と果物1皿分を食べることで、おおよそ400gが摂取できます。



③熱い飲み物や食べ物は冷ましてから

飲み物や食べ物を熱いままをとると、食道がんのリスクを上げるという報告が多くあります。飲み物や食べ物が熱い場合は、少し冷まし、口の中や食道の粘膜を傷つけないようにしましょう。

出典:国立研究開発法人国立がん研究センター 多目的コホート研究の成果およびがん情報サービス

アンコンシャス・バイアスに目を向けてみませんか？

療育指導室 山寄 利紘

「アンコンシャス・バイアス」という言葉をご存じでしょうか。

アンコンシャス・バイアスとは、日本語で「無意識の思い込み」などと表現されています。無意識下にある偏見や思い込みを指す用語で、アンコンシャス・バイアスは過去の経験や日々接する情報、周囲の意見などさまざまなものから影響を受けて形成されるため、誰にでも起こりうる現象です。

例えば…



共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ

年配(高齢者)の人は頭が堅い



普通、男の子はブルー、女の子はピンクでしょ!!

と、日常生活でも無意識に思い込んでいることはないでしょうか？

無意識な偏見や思い込みから生じるアンコンシャス・バイアスの対策には「気づき」が大切だと言われており、3つの意識するポイントが政府広報でも紹介されています。

ポイント1 「べき」「普通は…」に注意!

「べきだ」といった押し付けの言葉や「普通は…」といった決めつけの言葉が出たら、立ち止まって考えてみましょう。

ポイント2 相手の「サイン」を見逃さない

家族や友人、同僚と話しているときに、急に相手の表情が曇ったり、声のトーンが変わったりしたことはありませんか？そんなときは、自身のアンコンシャス・バイアスから出た言動で相手を傷つけたのではないかと振り返ってみましょう。

ポイント3 常に自分に問いかける

アンコンシャス・バイアスを完全に払拭するのは難しいです。だからこそ、常に自身の言動を振り返り、問いかけることが大切です。違和感のあったことをメモするなど自分の考え方や物の見方の傾向がつかめるかもしれません。



私たち療育指導室の職員は、重症心身障害病棟で利用者さんの生活をサポートしている職員です。この、「アンコンシャス・バイアス」が影響して、利用者さんやそのご家族の人生を左右させてしまう可能性があることに意識を向けることが大切だと考えています。皆さんも、無意識の思い込みに目を向けてみませんか？

「アンコンシャス・バイアス」は、企業等でも注目されており、「アンコンシャス・バイアス」と検索いただくと、様々な情報が閲覧できます。ご興味のある方はぜひ、お調べください!

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
一般内科	午前 (予約)				モリ カズヨ 森 一世	
	午前				カワシマ チエ子 川島 智恵子	
循環器内科	午前	ナカノ タカヒデ 中野 考英(北関) (第1,3,5週)	マツオ ヤエ 松尾 弥枝(北関) (第1,3,5週)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第1,3,5週) (予約制)		ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第2,4週)	イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2,4週)	クリハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2,4週)	ナカシマ クニキ 中島 邦喜(北関) (第2週)	
脳神経内科	午後		クロサワ リョウジ 黒澤 亮二(太記)			ミチザキ ヒトミ 道崎 瞳(群大)
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	ミヤシタ ヨウタ 宮下 晃汰(群大)	アノコ トモヒト 桑子 智人	シン ユウキ 申 悠樹	アノコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	ムラタ ケイスケ 村田 圭祐	ツチヤ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 覚
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘
	午前		マズダ トモミ 増田 友美(群大)			
	午前から 14時迄	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣		オチアイ マイ 落合 麻衣
	午前				クロイワ ユウキ 黒岩 裕也(群大)	
内分泌・ 代謝内科	午前				アライ フヒト 新井 史人	
	午後	シミズ トモヒコ 清水 智彦	ショウダ ヨシヒト 正田 純史 (14:00~)	ヤマダ マサノブ 山田 正信(群大) (第1週 14:00~)	ショウダ ヨシヒト 正田 純史	ヤマダ マサノブ 山田 正信(群大) (第3週 14:00~)
	午後			シミズ トモヒコ 清水 智彦		
小児科	午後	重心のみ・ 予約制		イノウエ フミタカ 井上 文孝(重心)		
	午後	小児神経 (てんかん) 予約制			イノダ 久仁子 (小児神経)	
	午後		イノダ 久仁子 (小児神経)			
血液内科	午前			ヨシザワ リョウ 吉澤 遼		
	午後 (予約)			ヤナギサワ クニオ 柳澤 邦雄(深谷赤十字) (第2週)		
	午前	カナヤ シュウヘイ 金谷 秀平	イノウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午前	サイトウ アキオ 斉藤 明生	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イノウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	イソダ アツシ 磯田 淳	サイトウ アキオ 斉藤 明生
	午後	イノウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	ヨシザワ リョウ 吉澤 遼	カナヤ シュウヘイ 金谷 秀平	イノウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	オオサキ ヨウヘイ 太崎 洋平(群大)
消化器内科	午前	ナカジマ ヨシミ 中島 良実	サトウ ヒロコ 佐藤 洋子	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	ムラカミ タツマ 村上 立真(群大)	ナルセ トモヤス 成瀬 智康
	午前	キムラ ユウコウ 木村 有宏	スガ タカヨシ 須賀 孝慶	ヒロ川 トモキ 廣川 朋之	ナガシマ タモン 長島 多聞	スズキ ヒデユキ 鈴木 秀行(原町日赤)
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ コウ 小林 剛		ホシノ シュンヤ 星野 隼矢	コバヤシ コウ 小林 剛	ホシノ シュンヤ 星野 隼矢
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マヅマ タケヒコ 間島 竹彦	マヅマ タケヒコ 間島 竹彦		マヅマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	マツウラ マサナ 松浦 正名	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也
	午後	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也
	午前	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラ マサナ 松浦 正名
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆
	午後			セキモト ケンイチ 関本 研一 (ペインクリニック外来)		

外来受付時間8時30分~11時00分 注)担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診療は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※第1・3・5水曜の循環器内科は完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15時までとなります。

※(予約制)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診察となります。

※再診予約の方については16時まで再来受付機での受付が可能です。

※やむを得ない事情により突然の休診や診療医師変更もございます。ご了承ください。

◎予約変更について 受付時間:平日13~17時 TEL.0279-26-3010(予約専用) TEL.0279-23-1010(代表)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
消化器外科	午前	マキダ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文 ★助川 シンサク 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1,3,5週13:30~)	マキダ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後		イチオカ ケン 市岡 健			
	午前 午後		エノケダ ヤスアキ 榎田 泰明		ヌマガ ユキ 沼賀 有紀 術前外来	
呼吸器外科	午前	オノザト リョウイチ 小野里 良一 (第1,3週) カワシマ オサム 川島 修 (第2,4,5週)		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
	午前			オノザト リョウイチ 小野里 良一 アツミ ジュン 渥実 潤		オノザト リョウイチ 小野里 良一 アツミ ジュン 渥実 潤
脳神経外科	午後			ヒラト マサフミ 平戸 政史 (予約)		ミヤギシマ タカアキ 宮城島 孝昭
	午前	ゴウダ ツカサ 合田 ツカ司	[予約制] タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 ツカ司	[予約制] タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 ツカ司
	午後		オオサワ ショウ 大澤 祥(群大)	ミヤギシマ タカアキ 宮城島 孝昭		イベ ヨウコ 伊部 洋子(群大)
	午前 午後(予約)		ヒラト マサフミ 平戸 政史		ヒラト マサフミ 平戸 政史	
ニューロ モデュレーション外来	午後			★ニューロ モデュレーション外来 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前	フリダ トシロウ 割田 敏朗	クシマ ノブマサ 九嶋 延昌		カナザワ サエコ 金澤 紗恵子	
	午後					オカムラ ヨウイチ 岡村 興一 [リウマチ専門外来]
	午前				術前外来	
	午前 午後	カナザワ サエコ 金澤 紗恵子 ハンドケア	術前外来	イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一 イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一	クシマ ノブマサ 九嶋 延昌	フリダ トシロウ 割田 敏朗
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	モリムラ ユウキ 森村 友紀	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ワタスキ ショウ 綿貫 翔
	午後(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ヤマグチ マサカズ 山口 将和		タムラ ヨシミ 田村 芳美	ワタスキ ショウ 綿貫 翔
	午前	ヤマグチ マサカズ 山口 将和	ワタスキ ショウ 綿貫 翔	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ヤマグチ マサカズ 山口 将和 ワタスキ ショウ 綿貫 翔	モリムラ ユウキ 森村 友紀
	午後(予約)	ヤマグチ マサカズ 山口 将和	ワタスキ ショウ 綿貫 翔	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ヤマグチ マサカズ 山口 将和	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午前10~ 12時	カナヤマ アスミ 金山 あずさ(群大)				
耳鼻咽喉科	午前			オカモト アヤコ 岡本 彩子		オカモト アヤコ 岡本 彩子
皮膚科	午前	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美
	午前	タカハシ ヨシノ 高橋 芳乃	タカハシ ヨシノ 高橋 芳乃	タカハシ ヨシノ 高橋 芳乃	タカハシ ヨシノ 高橋 芳乃	タカハシ ヨシノ 高橋 芳乃
乳腺・内分泌外科	午前 午後(予約)		ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコエ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午前 午後(予約)	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコエ トオル 横田 徹
	午前		サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前 午後(予約)		グンダイイン 群大医師	グンダイイン 群大医師		
	午前	アサトリ ヨウスケ 朝鳥 洋介(群大)				
歯科口腔外科 (予約制)	午前(初診)	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀
	午前(再診)	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀		ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀 オカガ マサル 小川 将(群大) (第1,3,5週) タニグチ アキエ 谷口 明慧(群大) (第2,4週)	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀

セカンドオピニオン担当医表

独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター（令和8年1月1日現在）

科別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	吉井 明弘		吉井 明弘		
呼吸器外科	午前中	川島 修				
血液内科	午後2時～			斉藤 明生		入内島 裕乃
乳腺・内分泌外科	午後2時30分～			佐藤 亜矢子		
消化器外科	午後				吉成 大介 沼賀 有紀 榎田 泰明	
放射線科	午後3時～		中村 勇司	神沼 拓也	松浦 正名	
皮膚科	午後3時～	高橋 亜由美				
泌尿器科	午後3時30分～					田村 芳美
脳神経外科	午後			宮城島 孝昭		

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,500円
 ※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

●患者さんの権利●

1. 最善の医療サービスを受ける権利

患者さんは差別されることなく、適切な医療を受ける権利があります。

2. 人格・人権を尊重される権利

患者さんは個人としての人格・人権を尊重され、医療を受ける権利があります。

3. 知る権利

患者さんは、自分が受ける処置や検査、治療に関して、十分な分かりやすい説明を受ける権利があります。また、知らせてもらいたくないことについては、その希望も受け入れられます。

4. 自己決定権

患者さんは、十分な情報と説明に基づいて、自分の意志により医療行為を決定する権利があります。

5. プライバシーを保護される権利

患者さんの診療上の情報はその秘密が守られ、第三者には開示されない権利があります。

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー

電話:0279-23-1010代(受付時間は平日8:30～17:15です)

- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:207-ShibukawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

看護の理念

患者さんの立場にたち、心あたたく、信頼に応える看護を提供します

看護の基本方針

1. 患者さんの尊厳と権利を尊重し、共に考える看護を実践します
2. 患者さんの気持ちに寄り添い、思いやりとまごころを込めた看護を実践します
3. 根拠に基づいた、安全で安楽な質の高い看護を実践します
4. 地域の人々と連携を図り、患者さんの生活の質の維持・向上に努めます



謹んで新春をお祝い申し上げます。今年は午年です。皆さまに良質な医療を届けるため、躍動感にあふれ力強く前進し、新たなことにもチャレンジしていきます。さて、院長の年頭挨拶でも触れたとおり、マスコットキャラクターの愛称が決まりました。私も選考に携わりましたが、どの愛称も素晴らしく本当に悩みました。選考を何度も行って少しずつ候補を絞り込み「しぶりい」に決定したところ。4月からは11年目がスタートします。北毛地域の基幹病院であることを自覚し、「しぶりい」とともに全職員が一つになって頑張りますので、本年もよろしく願いいたします。(T.S)



独立行政法人国立病院機構 **渋川医療センター**

〒377-0280群馬県渋川市白井383番地 電話0279-23-1010代 FAX0279-23-1011
 【ホームページ】<https://shibukawa.hosp.go.jp>